

ひょうたん島

未来のあたりまえを 考えるⅡ

プログラム

趣旨説明

徳島大学人と地域共創センター副センター長
山中英生

第1部 基調講演

持続可能な未来社会から
逆算するまちづくりの方法論：
トランジション・マネジメント

明治大学公共政策大学院 専任教授 松浦 正浩

第2部 話題提供

トランジションの視点からみた
公民連携の川まちづくりの
変遷の考察

一徳島市ひょうたん島エリアを対象として－
徳島大学理工学部 社会基盤デザインコース学部 4年
多田 羅 佑太

ひょうたん島の未来ビジョン

NPO法人コモンズ 代表理事 喜多 順三

第3部 パネルディスカッション

ひょうたん島・未来のあたりまえ
実現に向けて

コーディネーター 喜多 順三

パネリスト

(公社)徳島県建築士会 副会長 高源 真由美

NPO法人眉山大学 理事長 長谷川 晋理

徳島市市民活力開発センター マネージャー 岸田 侑

徳島大学大学院 創成科学研究科修士 2年 榎尾 果歩

コメンテーター 松浦 正浩

コメント・総括

徳島大学人と地域共創センター副センター長
山中英生

日時: **2022.2.19** [土] 13:30～16:30

会場: 徳島大学フューチャーセンター A.BA ハイブリット形式

徳島大学人と地域共創センターでは、ひょうたん島まちなか再生機構が進められた20年先を見据えた「ひょうたん島の未来ビジョン」策定を支援してきました。トランジション・マネジメントにより策定されたこの未来ビジョンは、持続可能な将来の姿を「未来のあたりまえ」と捉え、そのあたりまえを実現するために、逆算的にこれから取るべき行動を導き出そうというものです。かつて水質が悪く、護岸は直立したコンクリート、ドブ川と揶揄されていた新町川、清掃活動や川を活かしたイベントなどを重ねるうちに、水都とくしまを象徴する川となり、数十年の歳月を経て、今では「川をいかしたまちづくり」はあたりまえとなるトランジション(変革)を実現しています。本タウンミーティングでは、トランジション・マネジメントの手法を学びながら、「ひょうたん島の未来のあたりまえ」について考え、今後の活動へとつなげます。



定員: **会場30名 / オンライン80名**

新型コロナウイルスの状況によってはフルオンラインとします。

当日、感染症の指定区域に居住・就労されている方の会場参加はできませんので、ご了承ください。

参加申込期限: **2022年2月13日**[日]

問い合わせ先: 徳島大学人と地域共創センター

Tel: 088-656-9910 (平日9:00～17:00) Fax: 088-656-9880

Mail: chkoukenk@tokushima-u.ac.jp

参加申込URL: <https://forms.gle/wLG3ASXa6JLDf96L8>

